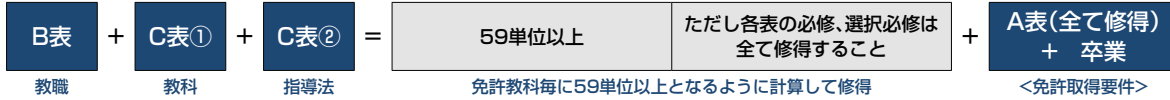


<教員免許状取得方法>



A 66条の6に定める科目

2024(R06)年度以降入学生適用

法令区分	授業科目	単位	科目区分	開講年次	成績
日本国憲法※1	憲法(人権・基礎)	計4	専門	1	
	憲法(統治・基礎)				
体育	体育実習	2	全共	1-4	
外国語コミュニケーション	英語1・2	計2	外国語	1	
数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作※2	数理、データ活用及び人工知能に関する科目 情報機器の操作	2	全共	1-4	
	AIとサイエンス コンピュータリテラシー				

※1 C表と同一科目のため重複履修不要。

※2 「数理、データ活用及び人工知能に関する科目」又は「情報機器の操作」より2単位以上選択必修

B 教育の基礎的理解に関する科目等

2023(R05)年度以降入学生適用

記号の説明

必…教育実習参加条件科目(かつ教免必修 ※p.21参照)
 実習前年度までに修得していない場合は実習に行けません。※詳細はp.15参照

科目区分説明

全共…全学共通教育科目 **専門**…学部の専門科目
教・資…教免・資格のための科目(卒業所要単位にならない科目)

複数の免許を取る場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

第一欄	教科及び教職に関する科目	各科目に含めることが必要な事項	学 部				修得状況		
			授 業 科 目	単位	社会	公民	科目区分	開講年次	修得年次
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項 各教科の指導法(情報通信技術の活用を含む。)	※1. 次頁[C:教科及び教科の指導法に関する科目]欄を参照。	—	—	—	—	—	—
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想	教育基礎論	2	必	必	教・資	1	
		教職の意義及び教員の役割・職務内容(チーム学校運営への対応を含む。)	教職論	2	必	必	教・資	2	
		教育に関する社会的、制度的又は経営的事項(学校と地域との連携及び学校安全への対応を含む。)	教育行財政	2	必	必	教・資	3-4	
		幼児、児童及び生徒の心身の発達及び学習の過程	教育心理学	2	必	必	教・資	2	
		特別の支援を必要とする幼児、児童及び生徒に対する理解	特別支援教育概論	2	必	必	教・資	3	
		教育課程の意義及び編成の方法(カリキュラム・マネジメントを含む。)	教育課程論	2	必	必	教・資	3	
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	道徳の理論及び指導法	道徳教育の理論と実践	2	必	選	教・資	1	
		総合的な学習(探究)の時間の指導法	総合的な学習の時間の指導法	2	必	必	教・資	3	
		特別活動の指導法	特別活動の理論と実践	2	必	必	教・資	1	
		教育の方法及び技術	教育方法論(情報通信技術の活用を含む) ※2	2	必	必	教・資	2-3	
		情報通信技術を活用した教育の理論及び方法	※2. 左記事項は「教育方法論(情報通信技術の活用を含む)」に含む。	—	—	—	—	—	—
		生徒指導の理論及び方法	生徒・進路指導論 ※3	2	必	必	教・資	2	
	教育相談(カウンセリングに関する基礎的な知識を含む。)の理論及び方法	教育相談	2	必	必	教・資	3		
	進路指導及びキャリア教育の理論及び方法	※3. 左記事項は「生徒・進路指導論」に含む。	—	—	—	—	—	—	
第五欄	教育実践に関する科目	教育実習 ※4. 中高向免許校種の受講登録者は「教育実習Ⅱ」(4単位)を履修修得すること。	教育実習Ⅰ(事前指導)	1	必	必	教・資	3	
		教職実践演習	教育実習Ⅱ(事後指導を含む) ※4	4	必	選必	教・資	4	
			教育実習Ⅲ(事後指導を含む) ※4	2	選	選必	教・資	4	
			教職実践演習(中・高) ※5	2	必	必	教・資	4	
第六欄	大学が独自に設定する科目 ※6 学校図書館司書教諭科目:受講登録者のみ履修可。 「学校図書館司書教諭」取得希望者は、5科目全て必修。	学校経営と学校図書館 ※6	学校経営と学校図書館	2	選	選	教・資	2-3	
		学校図書館メディアの構成 ※6	学校図書館メディアの構成	2	選	選	教・資	2-3	
		学習指導と学校図書館 ※6	学習指導と学校図書館	2	選	選	教・資	2-3	
		読書と豊かな人間性 ※6	読書と豊かな人間性	2	選	選	教・資	2-3	
		情報メディアの活用 ※6	情報メディアの活用	2	選	選	教・資	2-3	

※5.教育実習の単位を修得できない場合、単位は付与されない。

必・選必の合計単位数

31 27



教科及び教科の指導法に関する科目

2024(R06)年度以降入学生適用

科目区分説明

全 共 … 全学共通教育科目 専 門 … 学部の専門科目
教・資 … 教養・資格のための科目(卒業所要単位にならない科目)

複数の免許を取る場合、同一科目を重複して履修する必要はありません。

中1 社会

高1 公民

中学校一種 社会、高等学校一種 公民

法令科目区分		教 職			学 部		修得状況		
		授 業 科 目 ○印は一般的包括的な内容を含む科目	単 位	中1	高1	科目 区分	開講 年次	修得 年次	成 績
				社会	公民				
日本史・外国史		○ 国史概説(原始～中世)	2	必		教・資	2		
		○ 国史概説(近世～現代)	2	必		教・資	2		
地理学(地誌を含む。)		○ 外国史概説(西洋)	2	必		教・資	2		
		○ 外国史概説(東洋)	2	必		教・資	2		
		○ 人文地理概説	2	必		教・資	2		
		○ 自然地理概説	2	必		教・資	3		
[法学、政治学]	[法学(国際法を含む。)、政治学(国際政治を含む。)]	○ 地誌学	2	必		教・資	3		
		○ 憲法(人権・基礎)	2	必	必	専 門	1		
中学校一種 社会	高等学校一種 公民	○ 憲法(統治・基礎)	2	必	必	専 門	1		
		○ 民法A	2	必	必	専 門	1		
		○ 民法B	2	必	必	専 門	1		
		○ 刑法A	2	必	必	専 門	1		
		○ 刑法B	2	必	必	専 門	1		
		民法総則(基礎)	2	選	選	専 門	2		
		民法総則(応用)	2	選	選	専 門	2		
		親族法・相続法(基礎)	2	選	選	専 門	2		
		親族法・相続法(応用)	2	選	選	専 門	2-3		
		物権法(基礎)	2	選	選	専 門	2-3		
		物権法(応用)	2	選	選	専 門	2-3		
		担保物権法(基礎)	2	選	選	専 門	2-3		
		担保物権法(応用)	2	選	選	専 門	2-3		
		刑法総論(基礎)	2	選	選	専 門	2		
		刑法総論(応用)	2	選	選	専 門	2		
		債権総論(基礎)	2	選	選	専 門	2-3		
		債権総論(応用)	2	選	選	専 門	2-3		
		債権各論(基礎)	2	選	選	専 門	2-3		
		債権各論(応用)	2	選	選	専 門	3		
		刑法各論(基礎)	2	選	選	専 門	2-3		
		刑法各論(応用)	2	選	選	専 門	2-3		
		○ 国際公法	2	選	必	専 門	3		
		民事訴訟法(基礎)	2	選	選	専 門	2-3		
		民事訴訟法(応用)	2	選	選	専 門	3		
		刑事訴訟法(基礎)	2	選	選	専 門	2-3		
		刑事訴訟法(応用)	2	選	選	専 門	2-3		
		会社法(企業統治法)	2	選	選	専 門	2-3		
		会社法(企業金融法)	2	選	選	専 門	2-3		
行政作用法(基礎)	2	選	選	専 門	2-3				
行政作用法(応用)	2	選	選	専 門	2-3				
労働法(基礎)	2	選	選	専 門	3				
労働法(応用)	2	選	選	専 門	3				
政治学原論(基礎)	2	選	選	専 門	2-4				
政治学原論(応用)	2	選	選	専 門	2-4				
[社会学、経済学]	[社会学、経済学(国際経済を含む。)]	○ 社会学概論	2	必	必	教・資	3		
[哲学、倫理学、宗教学]	[哲学、倫理学、宗教学、心理学]	○ 経済学原論(基礎)	2	必	必	専 門	2-4		
		経済学原論(応用)	2	選	選	専 門	2-4		
教科に関する専門的事項	20単位以上修得	○ 哲学概論	2	選必	選必	教・資	3		
		○ 倫理学概論	2	選必	選必	教・資	3		
		1科目以上 選択必修							
教科に関する専門的事項 20単位以上修得			①必・選必の合計単位数	32	20				
②各教科の指導法 (情報通信技術の活用を含む。)	社会科・地歴科教育論	2	必		教・資	2			
	社会科・公民科教育論	2	必	必	教・資	2			
	社会科指導法Ⅰ	2	必		教・資	3			
	社会科指導法Ⅱ	2	必		教・資	3			
	公民科指導法	2		必	教・資	3			
各教科の指導法 中1種免 8単位以上修得 高1種免 4単位以上修得			②各教科の指導法の合計単位数	8	4				

①教科に関する専門的事項

中学校一種 社会

高等学校一種 公民

法学部

法律学科[社会・公民]